

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特養 大野台幸園	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市南区大野台3丁目	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	140人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年1月 0.0	評価の実施日	2011年8月14日
敷地面積	7,777 m ²	作成者	(株)光建構造設計事務所
建築面積	1,522 m ²	確認日	
延床面積	5,463 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

環境品質 Q vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.8
温熱環境	2.1
光・視環境	3.2
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.3
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物の熱負荷	4.1
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.9
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.1
汚染物質回避	3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	4.1
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
接道部には可能な限り緑地を配置し、周辺の景観に配慮した。また、外皮には断熱材を設け、建物の熱負荷低減に配慮した。	0	
Q1 室内環境 ブラインド、カーテン、庇により昼光制御に配慮した。	Q2 サービス性能 居室面積を全室10m ² /床とし、室内環境に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 可能な限り緑地を配し、周辺の環境に配慮した。
LR1 エネルギー 必要部位に断熱材を備え、また主な開口部には遮熱低反射複層ガラスを採用する事により建物の熱負荷低減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 分別が容易な工法を採用することにより、資源の使用量削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCo2を参照値の28%を削減し、地球の温暖化抑制に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい